

# 12月定例会



令和4年12月定例会を、11月29日から12月9日までの11日間の会期で開催し、一般質問は14人の議員が市政を問いました。  
市が提出した案件は、全22議案で、令和4年度補正予算関係3件、条例8件、その他11件を審議し、すべて原案のとおり可決しました。  
最終日の本会議では、追加提案の条例4件、補正予算1件及び議員発議による意見書1件を可決しました。

## 議員 発議

今定例会では、議員発議案（意見書1件）が提出され、可決しました。  
この意見書は、衆参議員議長、内閣総理大臣、財務大臣、農林水産大臣宛てに送付しました。

## 意見書

### ◆発議案第9号

農林水産業における燃料、肥料・飼料、資材等の価格高騰対策の拡充に関する意見書

当市の農業構造は、水田と畜産を主体とした営農体系であり、その約57%を畜産の生産額が占めるなど、畜産は、当市の農業基盤の根幹を成してきた。米価の低迷が続く中、新型コロナウイルス

ス感染症の長期化やウクライナ情勢及び円安等により、原材料価格等が高騰し、当市の畜産農家、酪農家の経営は限界に達している。  
国においては、施設園芸等原油価格高騰対策、配合飼料価格高騰緊急特別対策などを講じているが、農業経営者の視点に立てば、負債償還及び緊急融資などを含めた持続可能な農業経営を実現するためには、短期的、中長期的な視点による連続する追加支援策が必要である。  
特に、飼料原料の多くを輸入に依存する畜産経営については、飼料価格の高騰が経営に及ぼす影響は極めて大きく、今後の飼料価格の動向次第では、壊滅的な打撃を受けることは必至である。  
また、「永遠の日本のふるさと遠野」を標榜する当市の緑の景観保全、原風景保護、更には畜産を基幹とする当市の地域経済への影響は極めて甚大となる。

よって、国においては、畜産業者が希望を持つて経営を継続できるように、長期間にわたる飼料高騰対策を講ずることを求める。

## 年頭のあいさつ



遠野市議会議長 多田 勉

市民の皆様にご挨拶を申し上げます。市民の皆様にご挨拶を申し上げます。市民の皆様にご挨拶を申し上げます。

新型コロナウイルス感染症が未だ収束に至らない状況の中、社会生活は徐々に戻りつつあるものの、市内経済の情勢はまだまだ厳しい現状にあると認識しております。

昨年10月の改選により、新たな17名による遠野市議会がスタートいたしました。市民の負託に応えていくことは勿論のこと、議員それぞれが切磋琢磨しながら、真摯に市民の声に耳を傾け、安全かつ安心して暮らしていただけるまわりの実現を目指すとともに、山積する課題解決に一丸となって取り組んでまいりますので、これからも議会に対するご意見を寄せていただきますと存じます。

結びに、遠野市の更なる発展と市民の皆様のご健康とご多幸を心よりご祈念申し上げます。年頭の挨拶といたします。

## 予算等審査 特別委員会



予算等審査特別委員会（議長を除く16人の議員で構成、委員長小松正真議員、副委員長千田由美子議員）は、予算3件、条例8件、その他11件について付託を受け、審査を行いました。  
今委員会では、今後の施策全般について活発な質疑が交わされ、その結果、全22議案を原案のとおり可決しました。

### 遠野市廃棄物手数料 条例の一部改正

清養園グリーンセンターへの不燃物持ち込みは手数料が10kgあたり130円になるとのことだがなぜこの時期なのか。  
経費が増加しており、広域で連携する他市町の状況と踏まえ、今回の提案となった。

説明会では反対意見はなかったか。  
説明会では反対意見はなく、手続きの方法等について質問があった。

ショッピングセンターの退店が相次いでいるが、（協）遠野商業開発はたいへん頑張っている。店舗の誘致は市場規模が小さいこともあり苦戦しているが、遠野市としては今回も補正予算で、（協）遠野商業開発の取り組みを支援する。また新年度に向けても国からの交付金等を活用しながら活性化に取り組んでいきたい。

### 保育所運営業務委託料一次代を担う子どもたちのために

国でも示されているように、保育士の減少が問題となっており、その対策として保育士に対する処遇の改善が成されたようだが本市の対応は。  
国の改正に伴い給料の3%相当、月額9千円を目途に、処遇改善手当を支給している。

正規職員と非正規職員の比率は。  
現在265名中、

正規職員79名、非正規職員186名。非正規職員は全体の70%を占める。  
非正規職員の意向を取り入れて運営している。

現場で働く職員の処遇改善として、リフレッシュ休暇を取り入れてはどうか。  
コロナ対応等により現場で働く大変さは想像以上であることから、提案されたリフレッシュ休暇は案件として検討する。

### 野生鳥獣害防止対策の現状について

野生鳥獣害防止対策による駆除の実績は。  
令和4年度の捕獲数は、シカ2611頭、イノシシ7頭、カラスは継続して捕獲中である。有害駆除の実績は令和3年度より令和4

鳥獣害対策、県への要望は。  
シカは、年間2万5千頭以上を捕獲しないと減らない。広域での取り組み捕獲を強化すること、緊急捕獲対策で国の交付金を確実に



増え続けるシカ

年度の方が若干減少している。  
捕獲後の処理負担軽減の対策は。  
先進的な事例を取り入れていきたい。処理場については柔軟に対応できるようにしたい。

### 肥料価格高騰対策事業補助金の内容は

補助金を受けられる対象者と、その具体的支援内容は。  
販売目的で農産物を生産している方すべてが対象となる。前年度から増加した分の肥料費について、農家